

東京都小平霊園案内図

おたずねのお墓は 区 側 番です。



(樹林墓地)

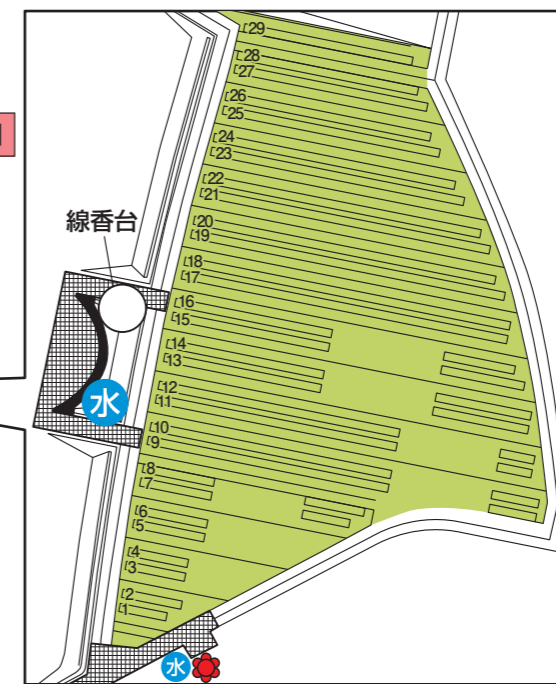
凡例

- 一般墓地
- 合葬式墓地
- 芝生墓地
- 樹林墓地
- 壁型墓地
- 樹木墓地

凡例

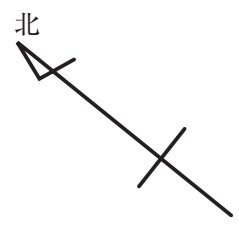
- 水汲み場 水
- 下げ花置場 花
- トイレ ♂ ♀
- 休憩所 休
- 公衆電話 ☎
- 市境界 —
- AED AED
- 桶・杓置場 桶
- 授乳室 授乳

*石材店で借りた桶・杓は、石材店にお返しください。



著名人墓地

氏名	区側番	職業・本名
1 山本 七平	1-8-21	評論家
2 松島 詩子	2-3-19	歌手・内海シマ
3 斎田 愛子	2-10-17	声楽家
4 宮本百合子	2-11-6	作家
5 佐分利 信	2-17-15	俳優・石崎由雄
6 渡部好太郎	3-7-21	飛行機研究家
7 富沢赤黄男	4-5-26	俳人・正三
8 伊藤 整	4-9-36	文学者
9 津村 謙	7-14-21	歌手・松原正
10 千葉 信男	8-1-7	喜劇俳優
11 市岡 忠男	9-18-17	野球選手
12 壺井 繁治	10-1-4	詩人
13 壺井 栄	10-1-4	作家
14 多田 恵一	11-7-23	白瀬南極探検隊長
15 古木鐵太郎	12-10-2	作家
16 大山 郁夫	13-1-1	政治家
17 梁田 貞	13-23-6	作曲家
18 青野 季吉	13-25-9	文芸評論家
19 浜本 浩	13-37-1	作家
20 砂田 重政	15-1-5	政治家
21 角川 源義	16-1-3	出版社経営・俳人
22 荒 正人	16-2-7	文芸評論家
23 佐々木味津三	16-17-22	作家・光三
24 添田唾蟬坊	16-17-23	演歌師
25 蠟山 政道	16-20-21	政治学者
26 佐野 学	17-9-30	政治評論家
27 河合 醉茗	18-9-14	詩人・河合又平
28 宮本 顯治	18-12-2	政治家
29 田畑修一郎	19-8-41	作家・修造
30 村上 一郎	21-19-39	作家
31 久保 栄	22-19-6	劇作家
32 織井 茂子	22-20-9	歌手・伊東茂子
33 徳田 秋声	23-27-29	作家・末雄
34 小川 未明	23-29-6	童話作家
35 有吉佐和子	25-12-15	作家
36 児島善三郎	26-1-4	洋画家
37 柳 宗悦	27-13-2	作家・民族研究家
38 下總 統一	27-2-18	作曲家・覚三
39 高橋掬太郎	29-8-14	詩人
40 野口 雨情	32-1-18	詩人・英吉
41 西ノ海嘉治郎	32-12-27	相撲(横綱)・松山伊勢助
42 有澤 廣巳	32-13-22	経済学者
43 高崎達之助	39-1-8	政治家
44 大村 清一	39-1-15	政治家
45 高塚 竹堂	39-19-15	書道家・錠二
46 富安 風生	41-1-9	俳人・謙次
47 十返 肇	41-2-1	評論家・一
48 鹿内 信隆	41-4-20	実業家



東村山市

東久留米市

小平市

至 本川越・所沢 西武新宿線 至 拜島・西武遊園地

小平駅

0 100 200 300 400 500m

小平霊園のあらまし

明治7年、ときの明治政府の「墓地取扱規則」制定を機に、東京府は市民のための公共墓地として青山、谷中、染井、雑司ヶ谷等の墓地を開設しました。

しかし、その後の東京の急激な市街化の進展と人口増加の為、大正初期には墓地不足が深刻化し、東京市は郊外の東方、西方、北方の3ヶ所に公園墓地の建設を計画しました。この計画に基づき、大正12年には北方面の多磨霊園(府中市)、昭和10年には東方面の八柱霊園(松戸市)を開設、昭和19年に西方面の小平霊園建設を都市計画決定し、昭和23年5月に開園しました。

小平霊園は、新宿から西へ23kmの地点、西武新宿線と新青梅街道にはさまれた住宅地のなかに建設された公園墓地で、総面積は65万3千㎡、そのうち約半分が墓所、残りの半分は樹林や草地、園路となっています。中央部の36区画は一般墓地、東側の5区画は近代的な明るい雰囲気芝生墓地、正門を入れて右側の樹林地の中には合葬式墓地、小型芝生墓地、北側の新青梅街道沿いには、壁型墓地があります。また、管理事務所近く、中央参道を左に入ったところに樹林・樹木墓地が設置されています。

西武新宿線の小平駅北口から線路沿いに、ケヤキ並木の表参道を300mほど歩くと正門に着き、門を入れて左側の林の中に管理事務所があります。正門からは幅員約50mの中央参道が北へ600mほど続き、両側に高く枝を広げるアカマツや緑鮮やかな芝生地、秋には彼岸花などが目をひきます。園内の区画の多くは、ケヤキ、サクラ、マツなどの並木のある園路によって100mごとに四方を区切られ、区画ごとに特徴のある雰囲気を醸し出しています。

春と秋のお彼岸やお盆の時期には1日に数万人の墓参者が訪れます。墓参だけではなく朝晩や休日などには、散歩を楽しむ人やこどもたちなども多く見受けられ、地域に溶け込んだ霊園となっています。

なお、本園は周辺市の広域避難場所にも指定されています。

1.沿革

- 昭和23年5月 開園 都立8霊園で7番目の設置
- 昭和36～44年 芝生墓地開設
- 昭和60年10月 霊園の管理が公益財団法人東京都公園協会に委託される
- 昭和63年9月 現在の管理事務所竣工
- 平成3～5年 壁型墓地開設
- 平成10年6月 合葬式墓地1号基開設
- 平成20年5月 合葬式墓地2号基開設
- 平成24年4月 樹林型合葬墓地開設
- 平成26年4月 樹木型合葬墓地開設
- 平成26年4月 小型芝生墓地開設


2.面積・施設

総面積	653,545.40㎡	施設別内訳	使用者数及び埋葬体数 (令和5年4月1日現在)
行政区城内訳		墓所(墳墓) 297,386㎡	使用者数 埋葬体数
東村山市 359,322.87㎡		通路(墓域内) 136,166㎡	一般墓地 40,574人 182,949体 (一般・芝生・壁型・小型含む)
小平市 201,789.78㎡		園路 94,132㎡	合葬式墓地 14,097人 22,347体
東久留米市 92,432.75㎡		植え込み 89,437㎡	樹林墓地 6,891人 3,173体
		芝生(除墓区域) 10,700㎡	樹木墓地 2,400人 2,532体
		その他(建物等) 25,724㎡	
		水汲み場 91箇所	
		休憩所 2箇所	
		トイレ(身障者用併設) 6箇所	
		下げ花置場 56箇所	

墓所の管理についてのお願い

使用許可を受けている墓所については、使用者に管理をしていただくこととなっています。樹木の枝、根、雑草等により隣接の墓所に迷惑がかからないよう十分注意してください。カラスなどによるお供物の散らかしや、大量のゴミの処理に大変苦慮しております。墓前に供えた菓子、くだもの及び墓参の際に持ち込まれたビンや缶、弁当の空き箱などは、お帰りの際にお持ち帰りください。

参 考

指定管理者  **公益財団法人東京都公園協会**
事務所名：小平霊園管理事務所
住所：〒189-0012
東京都東村山市萩山町1-16-1

■当霊園に関すること：小平霊園管理事務所
TEL：042-341-0050
【書類受付時間】8:30～16:30(お問合せ等は～17:30 年末年始休)
FAX：042-341-0063

TOKYO 霊園さんぽ
URL：http://www.tokyo-park.or.jp/reien/

- 交通
西武新宿線「小平」北口下車 徒歩5分
(高田馬場駅～小平駅 急行で約25分)
- 車でお越しの方へ
・車の出入りは、正門のみですが、お彼岸の中日などは北口(新青梅街道側)を所轄警察の指導のもと、開放いたします。
・正門出入口の開放時間
4月～9月 7:30～18:30
10月～3月 7:30～17:00
なお、車での入園は夕方の時刻の30分前までです。大型車両は、入園できません。

